

ジブチ月例報告 (2026年2月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

- 2月2日、大統領多数派連合（UMP）を構成する社会民主党（PSD）は、人民宮殿で開催された臨時党大会において、ハスナ（Mme. Hasna Moumin Farah）党首を同党党首に再選出するとともに、大統領選挙におけるゲレ大統領への支持を表明した。
- 2月28日、モハメド統一民主党（CDU）党首は、臨時党大会において、大統領選挙候補として指名された。
- 2月28日、アブドゥルカデル首相は、アリ・サビエ地域を公式訪問し、地域住民と将来の地域滑走路建設という戦略的インフラプロジェクトに焦点を当てた協議を行った。

【外政】

- 2月6日、ハッサン・ジブチ外交研究所所長は、アンカラを訪問し、スレイマン・アンカラ大学国立海洋・海事法センター（DEHUKAM）所長との間で、パートナーシップ確立のための覚書に署名した。
- 2月11日、オマール外務・国際協力大臣は、アディスアベバで開催された第48回AU執行理事会に参加した。同大臣は、ニアレ・コートジボワール外務大臣、ニアン・セネガル外務大臣等とも面談した。
- 2月14日～15日、ゲレ大統領は、アディスアベバで開催された第39回AU首脳会議に参加し、演説の中で水資源の持続可能な管理と透明性のある効率的なガバナンス推進に関するジブチの取組を紹介した。同大統領は、AU平和・安全保障理事会が開催した南スーダンにおける再活性化された和平合意（R-ARCSS）の実施に関する会議や第2回伊・アフリカサミットにも参加し、グテーレス国連事務総長、中国の工業分野や風力エネルギー開発企業の関係者、エチオピア航空CEO等と面談した。
- 2月18日、オマール外務・国際協力大臣は、バロ仏欧州・外務大臣との間で電話会談を行った。
- 2月28日、ジブチ外務・国際協力省は、中東情勢に関し、アラブ諸国に対するイランの攻撃を非難し、アラブ諸国への連帯を表明するとともに、関係する全ての当事国及び国際社会に対し、地域情勢のエスカレートを防ぎ、外交交渉に戻るために緊急の停戦に向けて呼びかけるコミュニケを発出した。

● 2月28日、ゲレ大統領は、ジブチに駐在するアラブ諸国及びイスラム諸国の大使らを私邸に招き、ラマダンの祝賀のメッセージを交換した。

【経済・開発】

● 2月3日、ジブチ・テレコム、エチオ・テレコム、スダテル・テレコムグループは、「ホライズン」プロジェクトの立上げに関する合意に署名した。同プロジェクトでは、ジブチからアディスアベバ、ポートスーダンを結ぶ約2,800キロメートルの陸上光ファイバーケーブルの建設が予定されている。

● 2月3日～5日、ジブチ訪問中の「米・ジブチビジネス貿易円卓会議」代表団は、ハディ港湾・フリーゾーン庁長官、ヨニス・エネルギー大臣（天然資源担当）等と再生可能エネルギー、天然資源等の分野における投資に関する意見交換を行った。

● 2月4日、ハッサン・インフラ設備大臣、ハディ港湾・フリーゾーン庁長官等の出席の下、トルコ・アフリカ間連結性に関する運輸合同運営委員会（JTSC）第一回会合が開催され、アフリカ・アジア間の交通接続を強化する意向が再確認された。

● 2月16日、ジブチにおいて、ジブチ・エチオピア・南スーダン・ウガンダ回廊庁（DESSU）設立協定の署名式典が開催され、各国の運輸担当大臣及びEU大使が参加した。翌17日、アレム・エチオピア交通・物流大臣は、ハディ港湾・フリーゾーン庁長官及びハッサン・インフラ設備大臣と面会し、ダメルジョグ石油港の活用について議論した。

● 2月17日、ジブチ政府は、国家開発計画（PND）の改訂版を正式に発表した。同計画では、多様化・新興・公平・ガバナンス及び国家的資本プログラムを柱に経済多角化（観光、漁業、農業）、港湾への依存度低減、年間7%以上の成長、年間1万件以上の雇用創出、貧困削減等が目標とされている。

● 2月20日、シモン予算省次官はアビジャンでシディ・アフリカ開発銀行（BAD）総裁と面談し、第二空港建設構想の資金調達に係るBADのコミットメントが再確認された。

● 2月21日、ヨニス・エネルギー大臣（天然資源担当）は、シンガポールに拠点を置く中国企業 TZE KUEN と、5,000万米ドル以上の鉱業協力協定に署名した。

【保健・衛生・社会】

● 2月3日、イリヤス経済・財政大臣（産業担当）とモハメド・イスラム開発銀行（IDB）総裁はアル・シファ病院内のがん治療センターの設立に向けた50億ジブチフランの資金調達契約に署名した。

● 2月9日、ナギブ首相府次官率いるジブチ代表団は、エチオピアのアファール州都サマラを訪問し、調停、和解、賠償に基づく伝統的な慣習法制度である「マドカ・

アファール」(ユネスコ世界無形文化遺産)の地域間調和のためにコミュニティ代表者等と面談した。

●2月22日、ジブチ代表のイブラヒム(M. Ibrahim Hassan Bouh)氏は、大阪マラソン大会において大会新記録で優勝した。

【軍事・治安】

●2月3日、駐ジブチ仏軍(FFDJ)は、1月18日に第188空軍基地で新型航空監視レーダー「グラウンドマスター200(GM200)」を受領したと発表した。

●2月17日、ゲレ大統領は、米の支援で近代化されたマルヤマ・軍事キャンプ(PKO訓練センター)の改修終了に伴う開所式に参加し、キエルシュト当地米大使が出席した。

【日本関係】

●2月2日、大河内大使は、バードン法務・刑務大臣(人権担当)への着任表敬を行った。

●2月9日、大河内大使は、サイド・ジブチ市長への着任表敬を行った。

●2月11日、在ジブチ日本大使館は、ジブチへの投資機会の促進を目的としたビジネスツアーを開催し、アディスアベバや中東に拠点を置く複数の日本企業が参加した。一行は、港湾視察の視察、イリヤス経済・財政大臣(産業担当)及びユスフ商工会議所会頭との面談、アル・シファ病院の視察、地元企業との面談等を実施した。

●2月12日、大使公邸にて天皇誕生日祝賀レセプションを開催した。サフィア投資・民間部門開発担当長官、ディレイタ国民議会議長等、ジブチ政府関係者や各国大使、企業関係者等が出席した。同レセプションでは、JICA及び自衛隊拠点による活動展示に加え、ビジネスツアーに参加した日系企業による製品紹介ブースが設置された。

●2月12日、草の根無償資金協力「アルタ州ホテル業訓練高校キッチン増築計画に伴う事業」開始式が開催され、大河内大使及びムスタファ国民教育・職業訓練大臣が出席した。

●2月12日、UNODCによる「アフリカの角における海洋安全保障に関する地域訓練能力の構築」訓練プログラム閉会式がジブチ地域訓練センター(DRTC)において開催され、山田次席が参加した。

●2月16日、草の根無償資金協力「ジブチ市ハヤブレイ小学校図書室建設計画」署名式が開催され、大河内大使他が参加した。

● 2月16日、ジブチ沿岸警備隊と海上保安庁ほか日本の関連機関が海賊護送訓練を実施し、海上保安庁高橋参事官、アダワ・ジブチ沿岸警備隊副長官、大河内大使等が参加した。

● 2月17日、モハメド沿岸警備隊副長官臨席の下、沿岸警備隊技プロの合同調整委員会（Joint Coordination Committee：JCC）が開催され、参加した隊員に対し修了証書の授与が行われた。

（了）